

兵庫県における蝶数種の新知見

広畑政巳

1) キアゲハの食餌植物

広畑・近藤(2007)に本種の兵庫県における食餌植物としてセリ科のシシウド, カワラボウフウ, ニンジン, ミツバ, セリ, パセリ, マツバゼリを報告したが, 2017年4月16日に高砂市高砂町の加古川河口の河川敷にてハマボウフウに産卵する本種を確認しているので兵庫県における食餌植物として報告する。

2) キタキチョウがノビタキに捕食される

コムラサキがサンコウチョウに捕食された例(広畑, 2017), アオスジアゲハがトノサマガエルに捕食されて例(広畑, 2016)は報告してきたが, 2016年10月11日に太子町原にてキタキチョウがノビタキに捕食されるのを撮影しているのを報告する。また, 2016年10月21日には加古川市志方町畑においてオンブバッタの♂がノビタキに捕食されているのを撮影している。蝶の幼虫は捕食される例は多く見かけるが成虫が捕食されるのを見ることは少ないと思われるので報告した。

3) 姫路市における蝶数種の新産地

広畑・近藤(2007)やそれ以降に報告されていないと思われる産地として次の4種の新産地を確認しているのでその記録を報告する。

(1) キマダラモドキ

姫路市におけるこれまでの記録は山田町, 船津町, 書写, 刀出, 林田町, 菅生潤, 安富町三坂など限られた生息地しか報告されていない。個体数は多くないにしても市内全域にもっと広く分布しているように思われる。この度次の三箇所成虫を確認しているのを報告する。

【撮影記録】

姫路市白鳥台 1♂ 25-VIII-2015 広畑政巳(撮影)

姫路市六角 1♂ 24-VI-2015 広畑政巳(撮影)

姫路市実法寺 1♀ 19-IX-2015 広畑政巳(撮影)

(2) オオムラサキ

姫路市の従来の記録としては林田町山田, 夢前町文殿, 同町前之庄, 同町菅生潤, 同町小畑しか報告がない。その他の生息地として姫路市石倉, 同市増位山などでも生息が確認されており, もっと広く分布しているものと思われる。筆者の住まいのある白鳥台でも裏山で生息していることを確認しているのを姫路市の未発表の記録と併せて報告する。

【採集・撮影記録】

姫路市白鳥台 6幼虫 31-XII-2011 広畑政巳(採集)

姫路市夢前町寺 1♂ 25-VI-2015 広畑政巳(撮影)

(3) コムラサキ

姫路市における採集記録は極端に少なく, これまで姫路市広畑, 姫路市飾磨区, 姫路市京見山の記録しか発表されていない。筆者は姫路市の中心地と白鳥台でも生息を確認しているのを報告する。

姫路市の中心地とは本町の白鷺小中学校で, 運動場の南にあるシダレヤナギで毎年発生している。2012年の運動会の時以来その木では毎年成虫が数頭見られる。しかし, 残念なことに木が伐採されて2017年にはその姿は見られなくなった。

【撮影・目撃記録】

姫路市本町 数頭 27-V-2012 広畑政巳(目撃)

姫路市白鳥台 1♂ 8-VI-2016 広畑政巳(撮影)

姫路市六角 1♂ 27-5-2016 広畑政巳(撮影)

○参考文献

- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶 自刊
 広畑政巳, 2016. アオスジアゲハの天敵 ゆずりは (71): 62
 広畑政巳, 2017. コムラサキの天敵 ゆずりは (72): 63

(Masami HIROHATA 姫路市)

ナカモンカギバを兵庫県福崎町および市川町で採集

坪田 瑛

ナカモンカギバ (*Cilix filipjevi*) はカギバガ科カギバガ亜科のガで本州では岐阜, 愛知, 兵庫, 鳥根の各県, 四国では香川, 高知県また最近では大阪府でも採集されているが, 産地が局限され, 稀な種とされている。幼虫はズミやリンゴに寄生すると言われているがその詳細は未解明な部分が多い。

筆者は2017年5月に兵庫県神崎郡福崎町で, また同年8月に兵庫県神崎郡市川町でそのナカモンカギバをそれぞれ一頭を採集したので報告する。

福崎町のナカモンカギバ

福崎町の東端に日光寺山がありその中腹に日光寺がある。その登山道の中程で5月2日にライトトラップを行ったところ, 午後10時40分にナカモンカギバが

1 頭飛来した。その時の生態写真と展翅写真が図 1 および 2 である。



図 1 福崎町のナカモンカギバ 著者撮影。



図 2 福崎町のナカモンカギバの展翅標本 著者撮影。

市川町のナカモンカギバ

8月7日の午後9時40分頃、市川町屋形の播但連絡自動車道にある市川サービスエリアの上下線を往来するための地下トンネル通路の西側の出口付近でナカモンカギバがいるのを見つけた。白い壁に静止しているとつい見過ごしてしまうところであった。その時に撮影したのが図3である。このガも毒瓶に捕らえたが展翅に失敗してしまったので展翅標本はここでは提示しない。

両町でのナカモンカギバとも全く擦れていない新鮮な個体であった。

以上、福崎町と市川町でのナカモンカギバについて報告したが、本種は希少種ではあるが薄く広範囲に生息しているものと思われる。



図 3 市川町のナカモンカギバ 著者撮影。

○参考文献

Digital Moths of Japan, ナカモンカギバ. http://www.jpmoth.org/Drepanidae/Drepaninae/Cilix_filipjevi_malivora.html

(Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町)

2017年の兵庫県市川町でのシンジュキノカワガの採集記録

高橋輝男

シンジュキノカワガ (*Eligma narcissus*) は中国原産のガで、コブガ科シンジュガ亜科に属しており開張は67～77mmの大型で極めて美しいヤガである。発生時期は4～5月および9～10月とされている(江崎ら, 1999)。

2015, 2016の2年間、兵庫県市川町にある播但自動車連絡道の市川パーキングエリア付近でこのガを観察・採集しているが(高橋, 2016)、今年も当該パーキングエリア内で♂♀各1頭を採集したので報告する。

1 頭目のシンジュキノカワガ

10月25日の午後9時頃に当該パーキングエリア内の下り線側にある西側の通路を歩いていると突然大型のガが下側の林から水銀灯に向かって舞い上がってきた。後翅の黄色い部分がチラッと見えたので、すかさず持参していた小さな捕虫網で捕獲した。生体写真を撮影するために明るい所に行きコンクリートの壁に止まらせて撮影したものが図1であり、全く損傷のない羽化直後と思われる大変綺麗な個体であった。手に乗せると図2のように擬死状態になった。この個体を展翅したものが図3で、♂であった。